

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公表番号】特表2008-535388(P2008-535388A)

【公表日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-504186(P2008-504186)

【国際特許分類】

H 04 B 1/04 (2006.01)

H 04 B 1/40 (2006.01)

【F I】

H 04 B 1/04 J

H 04 B 1/40

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月24日(2009.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

方法であって、

無線周波数(RF)送受信機の第1閉ループ経路の第1直流(DC)オフセットを決定することであって、前記第1閉ループ経路には、第1経路及び第2経路が含まれ、前記第1経路には、前記RF送受信機の第1送信経路の一部が含まれ、前記第2経路には、前記第1送信経路の出力に結合された入力を有する第1フィードバック経路の一部が含まれる、前記第1直流(DC)オフセットを決定すること、

前記第1経路を除く前記第2経路に基づいて、第2DCオフセットを決定することを備える方法。

【請求項2】

RF送受信機の送信経路を較正するための方法であって、

第1モードにおいて、

送信経路及びフィードバック経路が含まれる閉ループの前記フィードバック経路に較正信号を提供すること、

前記第1較正信号を前記提供することに応じて、前記フィードバック経路によって出力される第1フィードバック信号に基づいて、前記フィードバック経路に関連する第1DCオフセットを決定すること

を備え、

第2モードにおいて、

第2信号を前記閉ループに提供することであって、前記フィードバック経路は、前記第2信号の前記提供に応じて、第2フィードバック信号を出力する、前記第2信号を前記閉ループに提供すること、

前記第2フィードバック信号に関連する第2DCオフセットを決定すること、

前記第1及び第2DCオフセットに基づいて、前記送信経路に関連する第3DCオフセットを決定すること、

前記第3DCオフセットに基づいて、前記第2信号を調整することを備える方法。

【請求項 3】

無線周波数（RF）送受信機であって、

RFアンテナに結合された出力を含む送信経路と、

前記送信経路の前記出力に結合された入力を含むフィードバック経路と、

前記フィードバック経路の出力に結合された第1入力、第1信号を受信する第2入力、
及び前記送信経路の入力に接続された出力を含むDCオフセット較正モジュールと
を備え、前記DCオフセット較正モジュールは、

前記送信経路及び前記フィードバック経路を含む閉ループ経路の第1直流（DC）オフ
セットを決定するように動作可能であり、

前記送信経路を除く前記フィードバック経路に基づいて、第2DCオフセットを決定す
るように動作可能である、

無線周波数（RF）送受信機。